

株式会社あおぞら銀行



勘定系システム更改と本社移転をきっかけに IT インフラの全体最適と働き方改革を実行



製品 & サービス

- Cisco TelePresence
- Cisco Aironet アクセス ポイント
- Cisco ワイヤレス LAN コントローラ
- Cisco IP Phone
- Cisco Unified Computing System (Cisco UCS)
- Cisco Nexus 7000 シリーズ

課題

- BCP 強化と働き方改革がテーマのオフィス移転
- IT インフラの老朽化対応

ソリューション

- Cisco TelePresence の全会議室配備によるタイムリーな会議開催、研修の実施
- Cisco UCS と Cisco Nexus による IT インフラ仮想化でコストと運用効率を大幅に改善

結果～今後

- 新たなテクノロジーを活用したお客様サービスの拡充

ユニークで専門性の高い多様な金融サービスを提供するあおぞら銀行は、勘定系システム更改と本社移転をきっかけに、IT インフラの刷新と働き方改革を実行。Cisco TelePresence、Cisco Unified Computing System (Cisco UCS) などのシスコソリューションの活用により、生産性向上、業務効率化などに大きな成果を上げています。

働き方改革やお客様へのきめ細かなサービスといった個別最適な業務要件を支える IT は、全体最適化させていくべきと考えます。

—— あおぞら銀行 インフラストラクチャーマネジメント部長 田中 暁 氏

あおぞら銀行は、個人、法人、海外の顧客に対してきめ細かい資産運用コンサルティングや幅広い金融商品ラインナップなど、ユニークで専門性の高い金融サービスを提供しています。2017年5月、上智大学四谷キャンパス(東京都千代田区)内の複合ビル ソフィアタワーへの移転をきっかけとした働き方改革を実施。Cisco TelePresence(ビデオ会議)ソリューションの活用をはじめとするさまざまな施策により、生産性の向上を実現しました。また、それに先立ち2016年にはおよそ40年ぶりとなる勘定系システムの更改も実施し、Cisco UCSによるITインフラの大規模な刷新も行っています。

課題

あおぞら銀行 管理部長 森田 由起子氏は「移転の3年ほど前から本社移転プロジェクトをスタートしました。当初の課題であった耐震性、BCP強化に加え、利便性を重視したオフィスを選定したところ、床面積が以前よりも狭くなるのが分かりました。

そこで、当行が全国の店舗で展開してきたデザインコンセプト「都会のオアシス」の本店版として「AOZORA MUSEUM」という青と空をテーマにした空間づくりと、生産性向上、業務効率化をテーマとした働き方改革を実現するオフィスづくりにより、狭いながらもコンセプトある新本社を目指しました。さまざまな企業の事例を参考にして、環境が変わるタイミングが働き方をどう変えるのか、そしてそのためのファシリティやITツールがどうあるべきか、を検討する絶好の機会と捉えたのです。」と語ります。



あおぞら銀行
管理部長
森田 由起子 様

そこで同行はプロジェクト チームを中心に、コンセプトおよびファシリティと IT ツールについて、経営陣と定期的にコミュニケーションしながら、検討を開始。金融機関としての高いセキュリティ要件をクリアした上で、執務室のフリー アドレス化とワイヤレス、モバイル化によるペーパーレス推進、食堂をワークスペースにも活用するなど、銀行でありながらユニークなプランを積極的に取り入れました。

中でも、ビデオ会議の全会議室への配備にはこだわったとのこと。「生産性向上、業務効率化にはいつでもどこでも、場所と時間にとらわれない働き方を実現する必要があります。Cisco TelePresence (ビデオ会議) の優れた画質、音質であればそれが実現できる、と感じました。そしてそれは本店だけではなく、支店や海外も含めて活用できなければ意味がありません。ですので、ビデオ会議は全ての会議室に配備しよう、と決めました。」(森田氏)

環境が変わるタイミングこそ 働き方と IT のあり方を見直す 絶好の機会と考えました。

ソリューション

Cisco TelePresence (ビデオ会議) によるタイムリーな会議開催、 研修のクオリティ向上

同行のビジネス プロセス改革を推進する、あおぞら銀行 事務企画部長 薄井 順子氏は Cisco TelePresence (ビデオ会議) の効果について、次のように語ります。「機器の導入後、社員に利用してもらい業務効率の向上を図るために、ビデオ会議システムを使った新しい働き方のイメージ資料を作成して事前周知するなど準備をしましたが、導入後は驚くほど自然に使いこなせています。日々の国内支店間、海外拠点間会議に頻繁に利用されていますし、年に 2 回開催される部店長会では国内支店長はもとより、海外拠点長が帰国する必要がなくなり、負担が減ったと好評です。新商品の導入研修にも役立っています。本店以外の社員は、これまでは電話会議で参加していましたが、ビデオ会議であれば資料も共有しやすいですし、講師にとっても表情が見えることで参加者の理解度が把握しやすく、研修の質が向上しました。」

また、利用促進のために、操作性にもこだわったとのこと。「Cisco TelePresence (ビデオ会議) はタッチパネルで直感的に利用できます。ユーザは IP 電話をかけるのと同じような手軽さでビデオ会議を開催できています。都度 IT チームにセッティングしてもらおう必要があるようなシステムですと、ここまで利用されなかったと思います。導入後、操作についての問い合わせはほとんどなかったようです。」(薄井氏)

Cisco UCS と Cisco Nexus による IT インフラの仮想化で コストと運用効率を大幅に改善

働き方改革における利便性強化を実現する上で、業務サービスを支える IT インフラ側の強化も並行して実施していく必要があります。あおぞら銀行 インフラストラクチャー管理部長 田中 暁氏は、従前からそのための準備を進めていたと語ります。「当行は 2013 年 8 月から勘定系システムの刷新という大きなプロジェクトを開始して、2016 年 5 月に無事、Go Live いたしました。その際に、従来型のコア、ディストリビューション、アクセス スイッチからなるシスコ 3 階層型ネットワークを、Cisco Nexus スイッチと Cisco UCS サーバの技術を用いてドラステックにシステム構成変更いたしました。当行はきめ細かなサービスを提供するのが強みですので、業務要件が個別最適化された結果、システム側で業務要件を満たすためにどうしてもサーバ数が増加して、導入と更改対応に苦慮していました。そこで、シスコと連携して当時の最先端技術を積極的に導入した結果、オンプレミスの約 80% 以上の仮想化を実現しました。その波及効果として、数十億円単位の大幅な機会費用の削減、数百台規模の機器数削減効果のみならず、新しいサーバ ネットワーク構成は、ネットワーク通信制御設定の変更作業や運用スキームを簡素化させることが可能となりました。



あおぞら銀行
事務企画部長
薄井 順子 様



あおぞら銀行
インフラストラクチャー管理部長
田中 暁 様

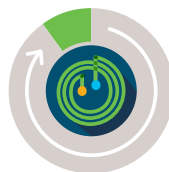


本店と府中支店を接続した Cisco TelePresence (ビデオ会議)

IT インフラ仮想化による効果



ネットワーク、
サーバ機器
96% 削減
(987 台 → 34 台)



ケーブル本数
90% 削減
(5,086 本 → 480 本)



消費電力
65% 削減
(52,500w → 18,700w)

このシステム構成は本番環境と開発環境の分離を必須とする金融業界の IT インフラに適したアーキテクチャと言えます。おかげさまで、勘定系更改プロジェクトにおける本番環境への移行作業や、本社移転プロジェクトにおける新ソリューション導入もスムーズに進めることができました。」と語ります。

また、ここで集約して余裕ができたネットワーク帯域は、移転後に全店で活用するビデオ会議にも利用されました。

結果～今後

同行は本店移転をきっかけとしたフリー アドレスの導入、モバイル PC、文書の電子化で紙文書を 6 割削減。2017 年 1 月からは原則 20 時退行の推奨、2017 年 4 月には全社員を対象とした在宅勤務制度など、チャレンジングな試みを続けています。ビデオ会議について薄井氏は「社内での会議利用が定着してきましたので、今後は、お客様向けの活用を検討しています。当行はお客様に対するきめ細かい資産運用コンサルティングや幅広い金融商品ラインナップの提供など、多様なニーズに的確にお応えできる態勢づくりを目指していますので、Cisco TelePresence (ビデオ会議) であれば、ビデオ会議を使った地方支店のお客様向けセミナーの開催や、地方支店に来店されたお客様に対して、本店にいるファイナンシャル プランナーなどの専門家がビデオ会議で直接、ご相談に乗るといった利用方法も可能になると思います。」と語ります。

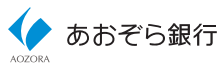
田中氏は、続けて銀行業界における IT インフラのあり方、IT 活用について次のように語ります。「遠隔地のお客様対応といった観点から、Cisco Webex Board に対して非常に興味を持っています。繰り返し申し上げますが、当行はお客様に対してきめ細かなサービスを提供するのが特長ですので、個別最適な業務要件を、全体最適化された IT インフラで支えていければと考えております。今後、HCI (ハイパーコンバージド インフラ) などのテクノロジーや、クラウドの利活用などについて、適材適所で取り組んでいきたいと考えております。」

その他の詳細情報

シスコ働き方改革の詳細は、www.cisco.com/jp/go/workstyle を参照してください。

シスコ データセンター ソリューションの詳細は、www.cisco.com/jp/go/datacenter を参照してください。

株式会社あおぞら銀行



設立	1957年(昭和32年)4月
本店所在地	東京都千代田区麹町6-1-1
拠点数	国内 20 本支店、1 出張所 海外 3 駐在員事務所
資本金	1,000 億円
総資産	4兆9,169億円(連結) (2017年12月31日現在)
URL	http://www.aozorabank.co.jp/

あおぞら銀行は、全国で業務を展開している、系列色のない中立的な銀行です。従業員は約1,700人とコンパクトですが、預金・貸出をはじめ、他の銀行と同様の業務を行い、グループ一体となり、お客さまに商品・サービスを提供しています。“進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」として、真に信頼され、メインバンク以外に「あおぞら銀行にも相談してみよう」と思っていただけのような存在を目指しています。ビジネスモデルとしては、選択と集中を効かせた「6つの柱」への注力により、ユニークな金融サービスの提供と専門性の一層の発揮を図り、企業価値の向上に努めています。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2018 年 5 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先